

## 研究講習事業報告

学発番号: 学21-030★(日臨技推進事業)  
事業名: チーム医療研究班 第3回R-CPC(Web症例検討会)  
日時: 令和3年12月15日(水)18:30~20:30  
場所: Web開催  
主題1: R-CPC 検査結果から見えるもの~総合編~  
症例提示者 横山 健輔技師(京都桂病院)  
パネリスト① 橋口 竜平技師(京都民医連中央病院)  
パネリスト② 山岡 清耶技師(京都桂病院)  
参加数: 総数:41名(京臨技会員:34名)  
報告者: 齊藤 祐巳子(京都大学医学部附属病院)

### 以下、講演内容など

今年度第3回目のR-CPCは検査データのみから病態を読み解いていく方式としました。「総合編」としてテーマを絞らずに3症例を準備し、2人のパネリストとともに読み解きました。今回は参加者にも事前に検査データを配布してじっくり検査データを読み解く時間を設けました。パネリストはそれぞれ平素は生理検査と検体検査をされている方で、それぞれの分野の視点で病態を読み解いていくプロセスは大変興味深く勉強になりました。検査データのどこに着目するか、また多くの異常値がある場合にそれらはどのように関係していて病態の進行とどう関わっていくのかなど、ディスカッションも活発に行われ大変勉強になりました。参加者アンケートでは来年度もR-CPCを開催してほしいと100%の方からご意見をいただき、今後も継続していきたいと考えています。